



るうてる

箱崎群教会共同体版

一月報 メッセージと証し

発行 日本福音ルーテル箱崎教会

代表者 牧師 和田 憲明

〒812-0053 福岡市東区箱崎 3-32-3

T E L (092) 641-5440 / F A X (092) 641-5480

メールアドレス wada@jelc.or.jp

箱崎教会・恵泉幼稚園 <http://www.jelc.or.jp/hakozaki>

聖ペテロ教会・奈多愛育園 <http://nata.aiikuen.net/>

CLICK

わたしの言葉にとどまるならば、あなたたちは本当にわたしの弟子である。
あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。

(『聖書』ヨハネによる福音書8章31b-32節／新約聖書 P182)

「マルティン・ルター」とはだれか



改修中のヴィッテンベルクの
街教会とルターのバナー
(2015年5月撮影/T・I)

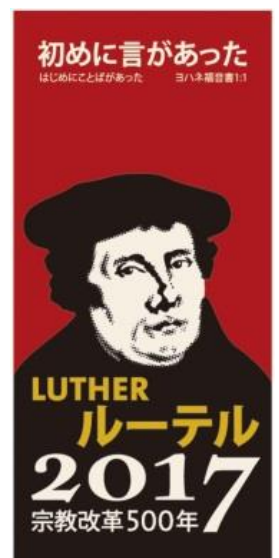
ルーテル教会の名前となっている、マルティン・ルターは、1483年ドイツのアイスレーベンという町に生まれました。1546年同じ町で天に召されるまで、キリスト教会のために働いたばかりでなく、その後の歴史に大きな影響を残した人物です。日本語では、ルーテル(ドイツ語読み)やルーサーなどいろいろな呼び方がなされ、明治時代には信仰を持って時の皇帝にも屈しなかった英雄として紹介されます。

ルターはもともと法律を学んでいました。ところが、学び始めてから一ヶ月半ほどしかたない1505年夏、エルフルトの大学に戻る途中、落雷に遭います。死を思うような恐怖の中で、「聖アンナよ、助けてください。わたしは修道士になります。」と彼は誓うのです。こうしてルターは修道士となり、自分の不安や悩みを解決することを求めたのです。しかし、修道院の生活では解決しませんでした。死の恐れは神から離れていることから起こると考えられていました。その神との交わりを得るためには、自分の犯した罪のゆるしを得ることが必要でした。神の前に自分が犯したあやまちを聞いてくれる司祭の前で

告白することは、修道生活に欠かせない要素でした。

しかしルターは何度も告白しながら、それに安心できませんでした。告白するとき、その告白は本当に神を愛することから出る行為なのかという疑問が付きまといまいます。より清い感情を持っていることを、聞いてくれる者にも、神にも、認められたいという思いのためではないのか。神の前には、自分が自覚していないあやまちの方が大きな問題ではないのか。そのような疑問を抱きながら、彼は、神の前での自分を考えたのです。こうした漠然たる不安は、やがて死の問題よりもむしろ神の前における罪の問題に集約され、そして「いかにして恵みの神に出会うことができるか」ということが彼の問いとなったのです。

ルターは同時に、当時の教会が神の恵みを告げ知らせるのではなく、むしろ人が勝手にそれを用いているのではないかと疑うようになったのです。人々



は一般に自分達が犯した罪の償いを死後に「煉獄」における苦しみにあってはならないと考えられていました。罪の大小によって、その償いの期間も決まります。そしてその償いの期間は、良い行いを償うことによって短縮してもらおうと考えられていたのです。

当時の社会は、一方でいわゆる大航海時代が始まり、アメリカ大陸がヨーロッパにも知らされ、アジア各地とも交易が盛んになるという時期でした。しかしヨーロッパではペストという病気が大流行し、恐ろしいことにおよそ3人に1人は亡くなっていきます。人々は自分達が生き延びていること事態にも、多くの人々の犠牲があったのではないかと負い目を感じ、様々な災難から逃れるために、また亡くなった人々のためにも、償いの行為をしなくてはならないという気持ちを持ったのです。そして、俗に免罪符、贖宥状が売られ、町では教皇のしるしのついた十字架を先頭に厳かに町を練り歩く、そして、「自分の魂やすでに亡くなった愛する人の魂の救いを良く考えなさい。煉獄で恐ろしい苦しみにあっている魂も、あなたがたがほんの少しお金を出すことで、その苦しみから救われるのだ。箱の中でお金が音を立てると、霊魂は煉獄から飛んで出る」(♪～歌もあったようです…)と説いたのです。そこに、ルターは、自分が聖書によって学んだ福音の教えを持って、こうした考えと行いに対して厳しく反対しました——これが、いわゆる「宗教改革」の具体的な発端となります。



1517年10月31日、当時ヴィッテンベルグ大学の教授となっていたルターは「95か条の提題」を発表し、激しい議論を巻き起こします。その第一条には、「私たちの主イエス・キリストが『悔い改めよ(マタイによる福音書4章17節)』と言われたとき、彼は信ずる者の全生涯が悔い改めである、と欲したのである」と書いてあります。これは、私たちが生きている間一生をかけて、キリストに罪の告白をしつつ、罪の赦しを受けることが具体的に勧められているのです。そして隠れた罪も、私たちが知らずに犯す罪までも赦すと、キリストはいわれます。あの十字架と復活によって「あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。」

(冒頭のみ言葉)と、聖書から私たちに語りかけるのです。主イエス・キリストの復活の力は、私たちに生き直すことが出来る恵みを与えてくださるものです。

ルターが死の直前に書き残したメモにはこうありました、「わたしたちは神の物乞いである。これはまことだ」と。それは、いつも自分では何も持たず、ひたすら神の恵みを乞い求める者としての姿を示しています。1546年2月、彼は生まれ故郷のアイスレーベンで62年の生涯を閉じました。もしルターの宗教改革なかったならば、世界のキリスト教会はもう少し違った道を行っていたことでしょう。なぜならカトリック教会は、この後「反宗教改革」を掲げ、巻き返しを図ろうと失われた地盤を海外に求めます。結果、イエズス会のフランシスコ・ザビエルが派遣されインド経由で1549年8月15日、日本(鹿児島)に初めてキリスト教が伝えられるのです…。

このルターを突き動かした宗教改革があったからこそ、今日の私たちの教会と園があるのです。今年「マルティン・ルター 宗教改革500年」。他の誰でもない、私やあなたに与えられている大いなる恵みではないでしょうか。[参照:『ルターの生涯と働き』(石居正己著、ルーテル学院大学宣教研究室企画・編集)、『福岡とキリスト教』(坂井信生著、海鳥社)など]

★もっと知りたい人のためのオススメ本

『マルティン・ルター—ことばに生きた改革者』(徳善義和著、岩波新書、700円+税)、『なんでもわかるキリスト教大辞典』(八木谷涼子著、朝日文庫、950円+税)、『カトリックとプロテスタント—どこが同じで、どこが違うか』(徳善義和・百瀬文晃編、教文館、1200円+税)、『争いから交わりへ—2017年に宗教改革を共同で記念するルーテル教会とカトリック教会』(ルーテル/ローマ・カトリック共同委員会、1200円+税)

昨秋、全国青年会（修養会）を迎えた礼拝で、年間主題「証しする教会—キリストの香り」、当日の聖句『神は言われる。終わりの時に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。すると、あなたたちの息子と娘は預言し、若者は幻を見、老人は夢を見る。』（『聖書』使徒言行録2章17節/新約聖書P215）に因んでお話しくださいました。感謝して掲載いたします。（わ）

証し

Y・H（全国青年会）

おはようございます。私は市ヶ谷教会の平井瑤子と言います。昨日から、全国青年修養会で箱崎教会の皆様にお世話になっております。また、本日このように共に礼拝にあずかれること、そして証しをさせていただけるお時間をいただき本当に感謝しております。

ここで、私の自己紹介を少しさせていただきたいと思います。現在、社会人2年目で東京都の企業が運営する保育園で1歳児の担任をしております。クリスチャン生活は、23年目になります。母と父が市ヶ谷教会で結婚式を挙げたことがきっかけで、教会と繋がり、2歳の時に洗礼を受け、16歳のイースターで堅信を受けました。教会の皆様から家族のように愛していただき、神様のことを信じて生きてきました。何にも疑問を持たず、大学卒業後キリスト教教育をしているこども園に就職が決まりました。こども園というのは、幼稚園と保育園が一緒になり運営されています。女性社会で、職員同士の派閥があるという、不思議な園でした。職員ほぼノンクリスチャンで、礼拝もやらされている感があり、きっと子どもたちにとって嫌なものになっている印象でした。私は、この園で保育部の1歳の担任になりました。保育部はシフトで動いていたのですが、社会人1年目。やること、覚えることが多いので、6:30~22:00まで園にいるということが当たり前になっていました。私にとって、昨年度は試練の一年であり、今日の聖書の箇所に出てくる、幻のような一年でした。神様を疑うことがなかった私ですが、「なんで神様はこんなに苦しい思いをさせるんだろう」と思うことが多くなりました。私は、たいていのことに耐え、乗り越えてきましたが、自分の殻に閉じこもりがちになり、乗り越え方がわからずもがきました。私は、不器用なので、なかなか人並みに保育力が身につくことなく、ペアの先生に毎日怒られ、出来ないふがない自分が悔しくて、涙する日々でした。シフトに関係なく、朝は早く夜は遅い上に、個人的に提出する書類が毎日あったので、十分な睡眠がとれず、身体も心もボロボロでした。当然、健康が保たれず、髄膜炎になったり、風邪を引いてしまい、欠勤をすることが増えました。そのうち、心の風邪である、現代病のうつ病になってしまいました。不思議なもので、人と関わるのが嫌になってしまい、教会に行くのも億劫になりました。この時期に一番聴こえた幻聴は「死んだら楽になれる」でした。布団から起き上がるのも困難になった日々が続き、1か月半が過ぎました。

そんな時に教会から遠ざかっていた私を母が連れ出してくれました。ちょうどクリスマスの時期で、礼拝堂へ入ると不思議と落ち着きました。今まで自分を責めることしかできずにいた私ですが、自分を守ってみたいと思えるようになりました。きっと神様から仕事を辞めてみてやり直したら？ときっかけを与えて頂けたのだと思います。仕事を辞める決意をして、そこからは不思議と前向きに少しずつ考えられるようになり、新たな職探しです。ですが、保育にはもう関わりたくないといい、事務職を探しました。しかし、受けて受けても落ち続け、どうしようと考えました。しかし、神様はきっかけをまた与えてくださり、見捨てずにいてくれました。まだ、正式に退職をしていなかった2月。同期の子が、保護者にお願いをしてくれて、ある動画を送ってくれました。そこには、担任をしていた子どもたちが、私のことを呼んでくれたり、上手にお話してくれているところでした。数か月前まで、言葉が出なかった子たちが、私のことを忘れていたと思っていたので、驚かされ、子どもと関わる仕事の素晴らしさを実感させられました。私の、この一年は無駄ではなく、もがき苦しんでよかったと思えました。そこで、もう一度夢を持ちました。この夢は、今の私には叶えられるかはわかりませんが、再び保育をやりたいと思えました。



現在、今の園で新しい子どもたちと共に楽しい日々を過ごしています。今は、この仕事に戻って良かったと心から思っております。私の苦しすぎる幻の一年がなかったらこの幸せな奇跡を体験することが出来ないと思う今、困難を下さり、強くして下さった神様に感謝しております。私の思う若者の幻は、夢やキラキラした日々と共に、苦しくつらいことだと思えます。これからも神様を信じ、生きていきたいと思えます。

1月下旬～2月「祈りのカレンダー」

※1月17日現在の主な予定（アラバシーは除く）

日	曜	箱崎教会・恵泉幼稚園	聖ペテロ教会・奈多愛育園（保育園）
1/20	金	10:30 女性の会聖書の学び（第2集会室）	10:00 奈多愛育園礼拝（年少、年中-年長）
21	土	17:00 カトリック青年会×JELCY九州（青年会）の集い（礼拝堂）	10:30 顕現節第3主日（土曜）聖餐礼拝
22	日	9:00 教会学校（幼稚園はお休み、小中高生は礼拝堂） 10:30 顕現節第3主日礼拝、礼拝後、女性の会×壮年会聖書の学び、こどもとのつどい・青年会、15:00 記念会（記念堂）	
23	月		
24	火	10:30 年長組礼拝（礼拝堂）	10:00 三苦ヨガ（聖ペテロ教会）
25	水	10:00 保護者OG『聖書』サークル（集会室）	
26	木	10:00 保護者『聖書』サークル（第2集会室）	10:00 三苦ヨガ（聖ペテロ教会）
27	金		10:00 奈多愛育園礼拝（年少、年中-年長）
28	土		10:30 顕現節第4主日（土曜）礼拝、礼拝後、教会総会
29	日	9:00 教会学校（園児は幼稚園ホール、小中高生は礼拝堂、 10:30 顕現節第4主日礼拝、礼拝後、教会総会	
30	月		
31	火	10:30 年長組礼拝（礼拝堂）	
2/1	水	10:30 幼稚園保護者会（山際千津枝さん講演会／礼拝堂） 19:00 黙想と祈りの集い（テゼの歌／礼拝堂）	
2	木		10:00 三苦ヨガ（聖ペテロ教会）
3	金	10:30 女性の会仕事会（第2集会室） 15:30 幼稚園教師聖研（幼稚園）	10:00 奈多愛育園礼拝（年少、年中-年長）
4	土		※毎月第1（土）の礼拝はお休み（合同礼拝のため）
5	日	9:00 教会学校（園児は幼稚園ホール、小中高生は礼拝堂）、 10:30 顕現節第5主日聖餐礼拝、愛餐会、2月定例役員会	←毎月第1（日）は箱崎教会で合同礼拝
6	月	13:00 「できたしこルテル」（熊本災害支援）会議（教区事務所）	
7	火	10:30 年長組礼拝（礼拝堂）	10:00 三苦ヨガ（聖ペテロ教会）
8	水	10:30 幼稚園保護者会（礼拝堂・集会室）	
9	木	キリスト教保育連盟九州部会会議（博多教会・南博ホール）	10:00 三苦ヨガ（聖ペテロ教会）
10	金	//	10:00 奈多愛育園礼拝（年少、年中-年長）
11	土・休	14:00-17:00 ゴスペルグループ（礼拝堂）	10:30 顕現節第6主日（土曜）礼拝、『聖書』ふりかえり
12	日	9:00 教会学校（園児は休園、小中高生は礼拝堂）、 10:30 顕現節第6主日礼拝、礼拝後、各会	
13	月		
14	火	10:30 年長組礼拝（礼拝堂）	10:00 三苦ヨガ（聖ペテロ教会）
15	水		
16	木	10:00 保護者『聖書』サークル（第2集会室）	10:00 三苦ヨガ（聖ペテロ教会）
17	金	10:30 女性の会聖書の学び（第2集会室） 18:30 幼稚園理事会（幼稚園）	10:00 奈多愛育園礼拝（年少、年中-年長）
18	土	18:00 第38回愛と平和のコンサート（らぶぴ／礼拝堂）	10:30 顕現節第7主日（土曜）聖餐礼拝
19	日	9:00 教会学校（園児は幼稚園ホール、小中高生は礼拝堂）、 10:30 顕現節第7主日礼拝、礼拝後、教会学校教師会 幼稚園世代間交流「こま回し大会」	
20	月		
21	火	10:30 年長組礼拝（礼拝堂）	10:00 三苦ヨガ（聖ペテロ教会）
22	水	10:00 保護者OG『聖書』サークル（集会室）	
23	木		10:00 三苦ヨガ（聖ペテロ教会）
24	金	 	10:00 奈多愛育園礼拝（年少、年中-年長）
25	土		10:30 変容主日（土曜）礼拝
26	日	9:00 教会学校（園児は休園、小中高生は礼拝堂）、 10:30 変容主日礼拝、14:00 ゴスペルグループ（礼拝堂）	
27	月		
28	火	10:30 年長組礼拝（礼拝堂）	10:00 三苦ヨガ（聖ペテロ教会）

†毎週土曜日・日曜日の礼拝など どなたも自由にご参加できます 各集会の詳細は気軽にお尋ねください

